

この記事の問い合わせ先：
ショウナ・シュューダ
メディア広報上級スペシャリスト
+1-630-468-7075
Shauna.Schuda@LionsClubs.org

即時リリース用

世界最大の奉仕団体、「思いやりは大切なこと」奉仕アワードにより 20のライオンズクラブ/レオクラブを表彰

(米国イリノイ州オークブルック) - 世界には 48,000 のライオンズクラブがありますが、うち 20 クラブが栄えある本賞を受賞しました。ライオンズクラブ国際協会が世界中で力を入れている糖尿病、食料支援、視力保護、環境保全、小児がんの分野のいずれかにおいて、特に優れた奉仕事業を行ったことに対するものです。ライオンズクラブ国際協会は 4 月、ライオンズクラブとレオクラブに「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを授与しました。これらのクラブは、奉仕に対する献身と独創的な地域社会奉仕によって選ばれました。

ライオンズクラブ国際協会のジュンヨル・チョイ国際会長は次のように述べています。「『思いやりは大切なこと』奉仕アワードは、地域社会の改善を目指して極めて革新的で独創的な奉仕事業を企画するよう、ライオンズとレオに呼びかけるものです。思いやりのある人々が力を合わせ、自ら汗を流して地域社会の改善に取り組むのは素晴らしいことです。参加している一人ひとりが、例えようもないほどの充実感を味わえます。」

今年度の受賞クラブの一つは、スリナム共和国のパラマリボ・セントラル・ライオンズクラブです。南米北東部の海岸に位置するスリナムは南アメリカ大陸で最も小さな国ですが、現地のライオンズはマングローブの木を植えることで、気候変動との闘いに大きな役割を果たしてきました。

「海岸線の浸食は農地にも害を及ぼしています」と前クラブ会長のグレン・テワリさんは書いています。「マングローブの木を植えることで、肥沃な土壌が海に流されてしまうのを防ぎ、土地を自然災害から守ることができます。」

パラマリボ・セントラル・ライオンズクラブは 2015 年以来、水文学者 S. ナイポール教授の指導の下、スリナムのアントン・デ・コム大学のマングローブ事業を支援してきました。ライオンズは、堆積物を閉じ込める足場を作ってマングローブの木を根付かせることができるよう、耐水性のある特殊な木材を寄付しました。また、苗木を育てる温室

を建てるための木材も寄付し、マングローブの植え付けも手伝いました。パラマリボ・セントラルのライオンズがこの事業を引き受けてきたのは、健全な海岸線が地域社会にとっていかに大切かを知っていたからです。

奉仕への継続的な取り組み、スリナムの人々の暮らしを守っていること、そして環境保全への努力によって、パラマリボ・セントラル・ライオンズは2021年「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを受賞しました。

今年度の「思いやりは大切なこと」奉仕アワード受賞クラブのストーリーは、すべて国際協会ウェブサイト www.lionsclubs.org/ja/kindness-matters-service-award で紹介されています。

###

ライオンズクラブ国際協会について

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の奉仕クラブ組織であり、**49,000**余りのクラブに属する**140**万人以上の会員が、世界**200**の国と地域で奉仕しています。**1917**年以来、ライオンズは労力奉仕と人道事業を通して各地域社会を強化してきました。ライオンズクラブ国際財団の惜しみない支援により、私たちはその奉仕のインパクトをさらに拡大しています。ライオンズクラブ国際協会は、視力保護、環境保全、小児がん、食料支援、糖尿病、さらにその他の切迫した人道的ニーズに集中的に取り組むことで、人類が直面している最大の課題の克服に貢献しています。詳細はlionsclubs.orgをご覧ください。